

「 祝 10 周年！更に深まった絆 」

～ 認知と連携 ～

N

NPO You a Family Club 理事長

子ども達とキャンプで過ごす事 10 年を迎え、今年の夏も志高く夏キャンプの日を迎えた。

当 NPO の宿泊キャンプは、YOU 倶楽部で共に過ごす 1 時間より、もっと長い時間を子ども達と過ごしたいというささやかな願いから生まれた。子ども達自身がわかる事が増えればもっと笑顔になれる、理解できる事が増えれば適切な自発的言動が増える、就寝までの長い時間を共に楽しみ、観察し、認知に働きかけ、行動修正して自立に向かう為の支援教育が行えたらという単純な思いは、10 年間を経て他者理解を促すまでに成長している。大切なキャンプの中で、大切な子ども達、大切な保護者様、大切な支援者の全員が、好ましい和を持ちながら更に成長できる様にこれからも尽力したい。

予告通りの猛暑に備え、熱中症と水遊びにおける危険共通理解事項の再々確認を終え、初めて出発日同日にバスに乗り込んだ。(いつもは前日に現地に向かい、活動場所で最終確認をして回り、現地まで到着を待っている。そのドキドキ感は非常に身体に悪い(笑))

共にバスに乗り、子どもたちのテンションを満面笑顔にMAXまで引き上げながら共に楽しみ、何という素敵な 10 周年のキャンプの始まり。

10 周年だからという訳でもないが、今年目標は「他者認知」。人は他者の理解なしには生きてはゆけない。自分の感情と他人の感情。これほど難しいものは無い。そして今年初参加の子どもさんが 3 名。例年通り、継続参加者にも初参加者にも分かりやすくより具体的に！ を心掛けた。

活動の時間を多く取りたい。という訳で、敢えて近場に活動場所を選び、学びの時間を有効にと思ったが、山の天気は気まぐれで、ランチが終わってから滝のような豪雨と落雷。全てが崩壊しそうな音が山一面に鳴り響きやがて停電という不測の事態。

がしかし、そんな時間も休憩時間+学びの時間と化す。こんな気象にも全く動じない。この落ち着いた様。突然の大きな音は、私たちと同行している子どもたちにとって最も苦手とするもののひとつのはず。この落ち着いた音は信頼関係から来るものなのか？また今年も確かな力がひとつ生まれた。

子安（1999）は「心の理解（understanding of the mind）」は「自分自身や他者の心の表象内容を推測すること」と定義し、「心の理解」自体が、他者理解を支える対人的知能という人間の心のしくみを構成する重要なモジュール（module）の一つであると同時に、空間的知能、言語的知能など他の様々なモジュールの支援を受けて発達することを実験心理学的に検討した。「心の理解」のモジュールの発達過程を心理学的に解明することは、主として対人的知能と個人内知能の問題であり、対人的知能の発達は、空間的知能の発達と密接に関連している（子安，1999）。

三次元空間の中に生まれ、その中で適応し発達していく人間にとって、空間の幾何学あるいは地理学の構成要素、また顔や表情の識別といった刺激布置の図像学は重要な問題であり、他者の心の理解に空間的知能が大きく関与することを示唆している。つまり、顔や表情の理解は空間的知能の重要な部分であり、それが自己認識や他者認識にとって不可欠な要素なのである。また、子安（1990）は、人間は常に一定の時-空間の中で存在し、個人は、厳密な意味での「いまここ」を他者と共有することは出来ないという冷厳な事実があると述べている。そして、その事実が他者認識の一つの出発点であり、自己と他者との視点が必ずしも一致しないという視点の違いに気づくことが、自-他の分離の意識につながり、ひいては自己視点とは異なる視点に立つ他者がどのようなものを見ているかを推測することが、他者の心の理解の基礎にある重要な情報となるとしている。その自他理解の起源は、乳児期における養育者をはじめとする他者とのやり取りにさかのぼることができる（遠藤，1997）。

心の理解は、社会生活において円滑な対人関係を形成するためには不可欠であり、そのためには、他者の感情を適切に理解することが不可欠（笹屋，1997）となる。感情の理解は、また、気持ちの理解、共感における他者理解ともいえる。久保（1992）は、共感とは他者の感情を理解する知的な側面と自分自身の感情が動かされている情的な側面との両方からなる多元的な構成概念としており、Feshbach（1987）は、共感とは他者の感情状態を弁別する能力、他者の視点や役割をとる能力、他者の感情を共有できる能力としている。つまり、感情の理解とは他者の内的感情を的確に再現する推論手続きにほかならない（波多野，2003）。

力強い理事と講師に恵まれ、4名のスーパーヴァイズは8つの目で隅々までを正確に適確に判断下さり、個々の課題を言葉にして今年のキャンプの成功にご尽力くださいました。本当にこんなに贅沢なキャンプは他にはありませんね（*_^*） たったの2日間ですが、保護者様も十分にお話が出来たようで安堵しております。これからも活動場所で先生方を捕まえては様々なご相談をして頂けます様にと願います。

来年もまた個々のスキルアップ向上を狙い、新天地にてキャンプを行います。近場で時間をたっぷり取る2日間、そしていつかは普段は行きにくい遠方で2泊3日なんていうのもありかな〜と考えています。

今年も輝く子どもたちとの熱いキャンプが終わりました。それぞれの個のはじける笑顔と堂々たる成果を胸に、事故なく全員が元気で帰神出来たことに深く感謝します。形は違えども様々なご支援を頂戴し、無事に28年夏キャンプを終えられましたことをご報告すると共に、心から御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

「人間」の元々の意味は、「じんかん」。

人と人の中にいる、その間に暮らすという意味だそうです。人の中で自分も生かされている。それを忘れずに、みんなで良き日々を楽しんで生きて参りましょう！

こども 子どもたちへ

ことし きゃんぷ
今年のキャンプは、どうでしたか？

いちねん おおきくせいちょう へんか みながら ことし
一年ごとに大きく成長・変化してくれるみんなを見ながら、今年は
どんなきゃんぷにしようかなあ・・・と、思いながら毎年キャンプを
つくって
作っています。

ことし きゃんぷ かてい じじょう くん おくれてさんか
今年のキャンプは、家庭の事情でS君が遅れて参加しました。
えんぼう かえって おとうさん ごうう
遠方から帰ってすぐにもかかわらず、お父さんはあの豪雨の
なかくるま はしらせて くん いきたい ねがい
中車を走らせて、S君の「キャンプに行きたい!」という願いを
かなえてくれました。おかあさん くん て おもたいにもつ ひいて
お母さんはS君の手と重たい荷物を引いて、
ともだち なか つれてきて
友達の中に連れて来てくれました。お父さんお母さんという人は、い
つもこうやって子どもの願いを聞いてかなえてくれる素晴らしい
ねがい きいて すばらしい
存在なのです。まいにちかんしゃ
毎日感謝しましょう。

そしてみんなは・・・??

くん きた こえ ぜんいん ふりむき くん
「S君が来たよ!」の声に、すぐさま全員が振り向きS君を
みつけました さがして こ ひとり
見つけました “どこ?”と探している子など一人もいませんでした。
ふしぎ てればしー かんじた
不思議ですね～。テレパシーを感じたのかなあ？

まって きた あゆみよってこえ いくこども
「待っていたよ」「よく来たね」と、歩み寄って声をかけに行く子ども
なんにん こうどう おとな はやく ころろ
が何人かいました。その行動は大人よりもずっと早く、心が
めいじた こうどう みた きゃんぷ はんぶん
命じたままの行動でした。これを見たとき、このキャンプは半分
せいこう かくしん
成功しているのを確信しました。

きゃんぷ きたかった くん とうちやく まって こどもたち
キャンプに来たかったS君と、到着を待っていた子ども達。
たがい かんじょう そら とびこえて たがい め あった
互いの感情は空を飛び越えてつながっており、互いの目が合った
とき そけっと こんせんと いっしゅん ぱちん
時にソケットとコンセントがはまるように一瞬でパチンとはまっ
たのです。

はじめて さんか おともだち あつい なか ほんとう がんばりました
初めて参加のお友達も、暑い中本当に頑張りました
^_^ きゃんぷ おわって にこにこ おかあさん
(*^_^*) キャンプが終わってもずっとニコニコしていたとお母さん
きいて
から聞いています。

けいぞくさんか おともだち いま きゃんぷ うえまわるじしん
継続参加のお友達は、今までのキャンプを上回る自信に
みちた こうどう ことば しぜん あらわせて ねん 1 かい
満ちた行動や言葉を自然に現せていました。年に1回の
きゃんぷ ほんとう こと
キャンプなのに、それは本当にすごい事です。これからもどんなこと
むね はってちゃれんじ
にも胸を張ってチャレンジしましょう。

きもち め みえません じぶん きもち たにん きもち め
気持ちは目には見えません。自分の気持ちと他人の気持ちも目には
みえませんが、生きていくための大切な事は目には見えないのです。

いま とおして み こうどう ことば
みんなはこれまでの経験を通して、身をもって行動や言葉に
あらわす事が出来ました。 実際に経験し言葉とつなげる、
きもち かお みてあいて ようす きもち しろう
気持ちとつなげる、顔を見て相手の様子や気持ちを知ろうと
かんがえる さまざま じったいけん とおして まなびつづけましょう
考える、様々な実体験を通してこれからも学び続けましょう。
がんばれば すてき おとな ひび まって
頑張れば、きっと素敵な大人の日々が待っていることでしょう (*^_^*)

ことし すてき えがお
今年もたくさんの素敵な笑顔を、みんなにプレゼントしてもらいま
した。どうもありがとうございました！

らいねん ちから あわせて
来年も力を合わせて
すばらしいきやんぷ
素晴らしいキャンプにしましょうね！

